

令和7年度（2025年度）大分大学グローバル感染症研究センター
研究集会報告書

採択番号	2025M06	
申請者に関する事項	氏名	Ratana Tacharoenmuang
	所属機関名	タイ王国立予防衛生研究所腸管ウイルス部門
	職名	部門長
研究集会名	タイ NIH—大分大学ロタウイルス共同研究集会	
開催期間	令和8年（2026年）2月10日	
本センター担当教員	河本 聡志	
令和7年度（2025年度）研究集会の概要		
<p>本研究集会では、タイ NIH と大分大学がそれぞれ実施するロタウイルス研究について、ワンヘルスに主眼を置いて最前線のデータを紹介していただいた。発表は両研究機関の若手研究者にお願いすることで、両国において次世代を担う感染症研究者を育成することも目指した。</p> <p>タイNIHではタイ全土、大分大学ではフィリピン・ターラック州でそれぞれ独自のワンヘルスなサーベイランス・ネットワークを構築・活用したロタウイルス流行株の監視とウイルス性状の解析を実施しており、同じ東南アジアでも、ロタウイルスの検出率やG/Pタイプに大きな違いがあること、両国においてやはり種間伝播の発生エビデンスが見られることが報告された。オンサイトの参加者のみならずweb参加のタイNIH側研究者からも活発なディスカッションが展開された。さらに、各研究機関が得意とする技術や検体をお互いに指導・共有する絶好の機会となった。</p>		